

リネイル

システムとネットワーク（リース）を自治体の構築・運営を手掛けるリネイル（前橋市大友町、矢島勲社長）は、画像共有システム「Reis（リース）」を自治体向けに展開、災害時の現場対応システムとして販売に乗り出している。災害など緊急時の現場の状況を、映像や画像でタイムリーに



生中継中の管理画面

災害現場対応へ機能追加 画像共有システム自治体向けに展開

把握し、本部と関係機関が情報共有するもので、台風や豪雪、大雨

による土砂災害など大型災害が多発する中、効果を発揮できるもの

と期待している。

同時生中継も問題なく稼働する。

「リース」は、スマートフォンで撮影した写真や動画などを画像共有サイトにアップロードするシステム。シンプルな画面と撮影するだけで自動アップロードするなど操作負荷を軽減し、手軽に正確に即時性を持つて運用できるのが特徴。既にも他業種で導入実績を挙げているが、今回、災害現場対応システムとして改良、機能追加を行った。操作が簡便なため、細かく担当者を設置して状況報告を受けるなど、より詳細な危機管理対応の運用に役立つものとなった。

会話しながらの生中継も可能で、動画を送信すると同時に現場のレポート、状況確認しながらの本部からの直接指示など、防災のほか事件・事故現場のニーズも高い。16カ所の

同システムでは、撮影場所を地図上に表示する機能を追加、本部の一元管理と全体的な状況把握、後の防災マップの作成などにも寄与する。また、BCP（事業継続計画）運用時にも現場報告などに効果を発揮する。

県内では既に試験運用が始まり、今後普及に努めていくという。矢島社長は、「昨年、広島で大災害が発生したほか、冬の異常気象でも被害が出ている。そのほか地震や火山噴火など、一年を通じて、どこでどんな災害が起こるか分からない状況と

なっている。本システムを導入することで、的確な状況把握と対応ができ、安心・安全の確保につなげてほしい」と述べている。